

6. 症状に応じた救急車の利用を！

やけどをしたとき、どの程度で救急車を呼んだらよいのか、あるいは急に頭が痛くなったとき、救急車を呼ぶ必要があるのかなど、判断に迷うことはないでしょうか。

ここでは、子どもから大人までよくあるけがや、全国的に死亡率が高い「脳卒中」「心筋梗塞」などが疑われる場合に救急車を呼ぶときの主な症状を紹介するので、119番通報する目安としてください。症状に応じて、適切に救急車を利用しましょう。

6

症状に応じた救急車の利用を！

こんなときは、迷わずに119番！



- 呼んでも返事がない(意識がない)
- 急に激しい頭痛、胸痛、腹痛がある
- 呼吸が苦しい、顔が真っ青、息をしていないようだ
- けいれんが続いている
- 急に呂律が回らなくなった、手足の動きが悪くなった
- 車にはね飛ばされた
- 高いところから転落し大きなけがをした
- 大出血している など

● 通報はあわてず正確に！ 119番にかけたときには、次のことを伝えてください。

- ① **救急**です
- ② **住所・目標**になるものを明確に!! (携帯電話の場合は必ず市町村名から)
- ③ **誰がどのような状態か**(呼びかけたときの反応や意識の状態など)
- ④ **通報している人の名前と電話番号**

※応急手当(人工呼吸、胸骨圧迫(心臓マッサージ)など)を指示されたら、その指示に従ってください。
詳しくは「応急手当の仕方(19ページ)」をご覧ください。

※病院に搬送される前に、その場に居合わせた人が
応急手当を行うことがとても重要です。
消防局では「応急手当講習」を行っております。
詳しくは宇都宮市ホームページをご確認ください。



応急手当講習

● 救急車が到着するまで落ち着いて待ちましょう

- ① 救急車を待つ間、「健康保険証」「子ども医療費受給資格者証(高校3年生相当年齢まで)」「お金」をご用意ください。
- ② 家族や周りの人がいれば、救急車の誘導をお願いしましょう。
- ③ 救急車が到着したら、次のことなどを聞かれますので、答えられるようにしておきましょう。
 - 現在の症状、どのように発症したか
 - アレルギーの有無
 - ふだん飲んでいる薬
 - 過去の病気(現在、通院している場合は医療機関名)
 - 最後に食事をした時間
- ④ 救急車が到着したら、救急隊の指示に従ってください。
- ⑤ 帰宅することを考え、患者の靴を持参しましょう。

● 119番通報に関する情報

宇都宮市消防局では、Live119現場映像通報システム、Net119緊急通報システム、メール119、ファックス119などを運用しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。



119番通報に関する情報 ▶